

NOTE BOOK

MADE OF THE FINEST PAPER PREPARED IN JAPAN



家の庭の虫



四年三組

伊藤晃一

SYOWA NOTE CO., LTD.



敬学会賞第十九回入選作品

陽光
A 30
SYOWA

の
な
か
ま

せ
な
か
ま

せ
ま
と
め

ち
な
か
ま

ち
ま
と
め

と
な
か
ま

と
き
と
め

ハ
な
か
ま

ハ
な
か
ま

目

次

1	なぜはじめたか	20	スジグロチョウ
2	かぶと虫のなかま かぶと虫	21	ウスタビガ
3	大ぞう虫	22	チョウ、かの まとめ
4	マメコガネ	23	とんぼのなかま シオカラトンボ
5	ドウガネブイブイ	24	アキアカネ
6	さくらこがね	25	カトリヤンマ
7	コフキコガネ	26	ナシアカネ
8	ゴマダラカミキリ	27	とんぼのなかまの まとめ
9	ヨシスジツハカミキリ	28	みずのなかま スズメバチ
10	せみのなかま あぶらせみ	29	みっばち
11	コエゾゼミ	30	アブのなかま コウアブ
12	ミンミンゼミ	31	ウシアブ
13	ハルゼミ	32	ハナアブ
14	いにいぜみ	33	ハチ、アブのなかまの まとめ
15	ひぐらし	34	つづく
16	エゾハルゼミ	35	コウロギのなかま エンマコウロギ
17	セミのなかまの まとめ	36	ショウリョウバッタ
18	チョウ、かの まとめ	37	とのさまバッタ
19	あげは	38	コウロギのなかまの まとめ
		39	そうまとめ

なぜはじめたか

ぼくの家には、木や草花がたくさんある
ので、いろいろの虫がいっぱい集まって来ます。
それでぼくは、どんな木にはどうゆう虫がい
るか、どの草花にはどうゆう虫がいるかいろい
ろと観察しようと思って、虫の研究を始め
ました。

かぶと虫
のなかま

せみの
なかま

せみの
まとめ

ちゅうぶ
のなかま

ちゅうぶ
のまとめ

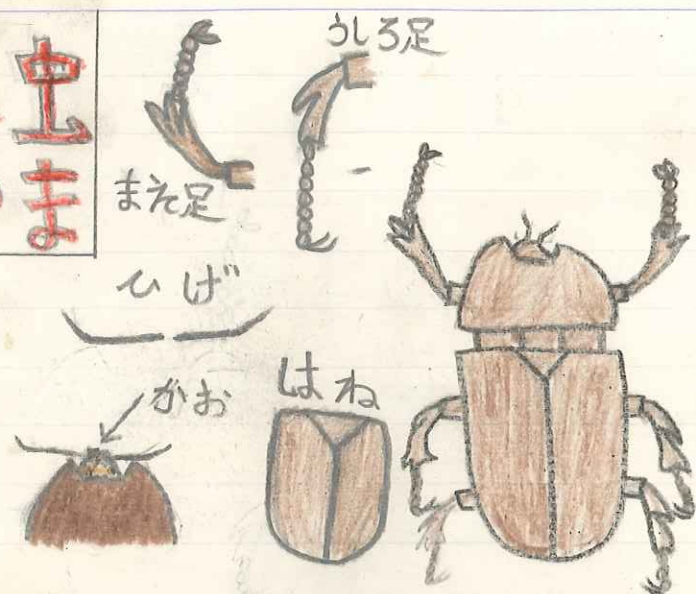
とんぼの
なかま

とんぼの
まとめ

ハチ、アブ
のなかま

バッタ
のなかま

かぶと虫
のなかま



かぶと虫 (めす)

(かぶと虫科)

つかまえた日 7月28日 (晴)

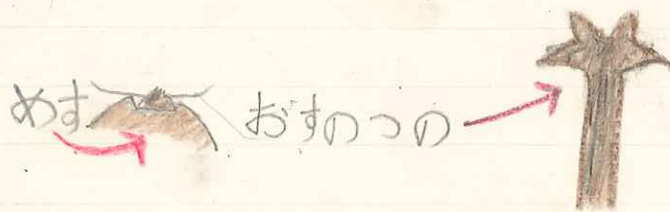
つかまえた場所 よるい草の中にとんできた。

6月, 7月, 8月に木のしるものんでいる。

わかったこと

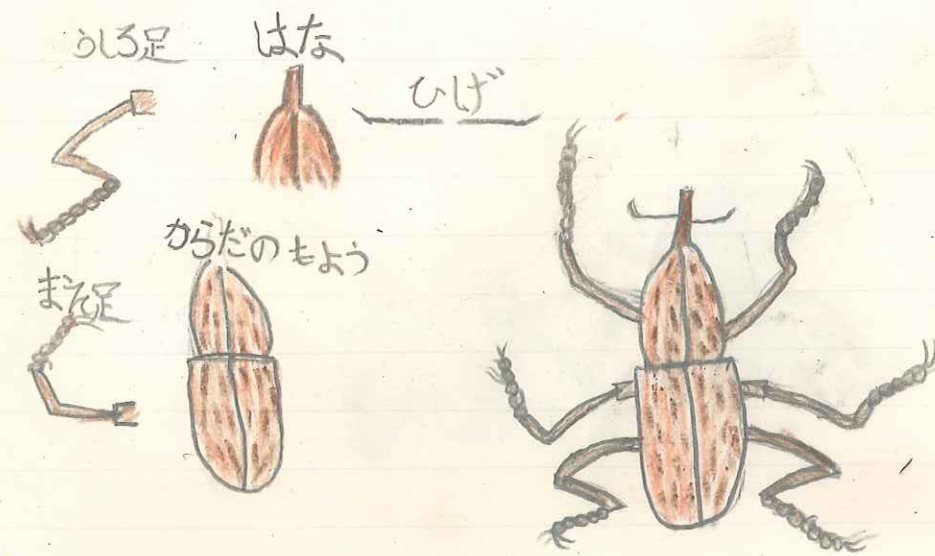
1. はねとはらにはやわらかくてみじかい毛がある。

2. すごく力がある。



3. はねはかたい。

4. おすはつのがあがるがめすにはない。



大ぞう虫 (おす)

(ぞう虫科)

つかまえた日 7月29日 (晴)

つかまえた場所 火田のかれき

6月, 7月, 8月に 林にいる

わかったこと

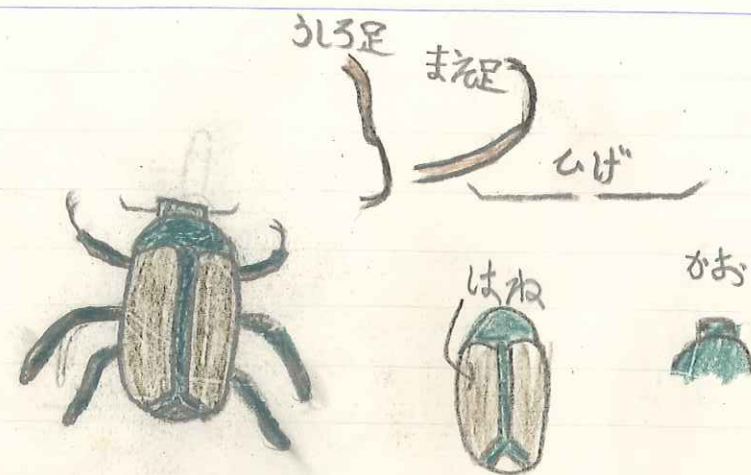
1. ぞうのようにはながながい

2. かれきとおなじようないろをしていてまちがい
やすい

3.

3. はらがかたくてちゅうしゃのはりがまがった。

4.



マメコガネ (お (おす))

(コガネ虫科)

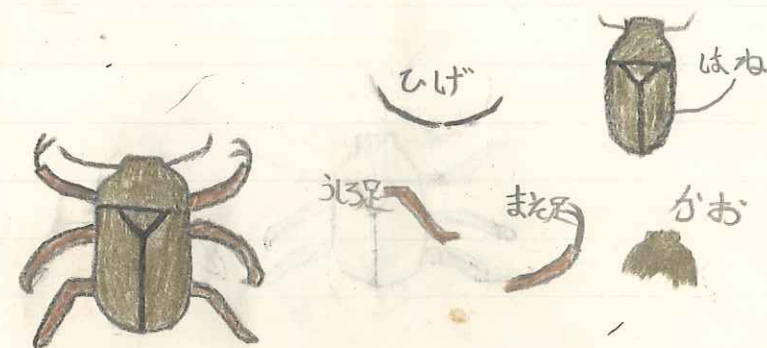
つかまえた日 7月20日 (晴)

つかまえた場所 ばらの花

6月, 7月, 8月に林にいる

わかったこと

1. 色は赤とみじりのまじった色
2. はねは金色にせんがひかっている
3. あるくのはおそいかとぶとはやい



ドウガネグイグイ (めす)

(コガネ虫科)

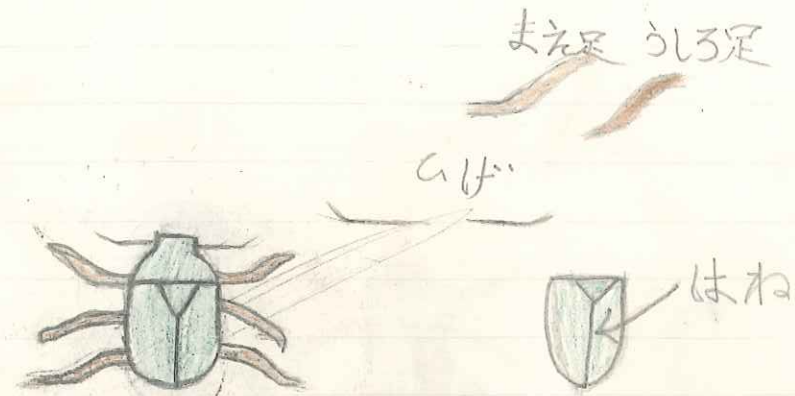
つかまえた日 7月22日 (晴)

つかまえた場所 あじさいの花

6月, 7月, 8月に草原にいる

わかったこと

1. 色は金色でつつまれている。
2. こがね虫の中でも大きいのだ。
3. (うしろ足) 足にはとげのようなものがある。



さくらこがね (おす)

(こがね虫科)

つかまえた日

7月29日 (晴)

つかまえた場所

草原

6月, 7月, 8月に林にいる

わかったこと

1. 色はみどり, はらはくろにちいろのせん
2. はねはみどりにくろのせん
3. からだはみどりでつつまれている



コフキコがね (おす)

(こがね虫科)

つかまえた日

7月30日 (晴)

つかまえた場所

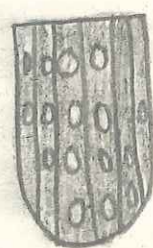
かきの木

6月, 7月, 8月に木の葉にいる

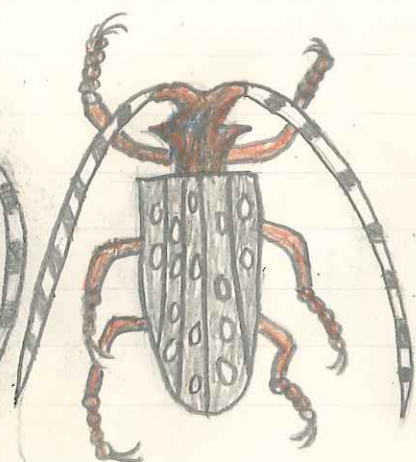
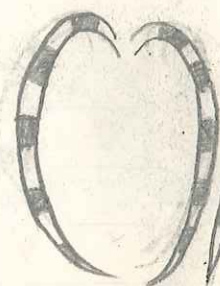
わかったこと

1. はねには、ちや色にうすいしろがまじっている。
2. 足にはみじかい毛がある。

からだもよう



ひげ



ゴマダラカミキリ(おす)

(カミキリ虫科)

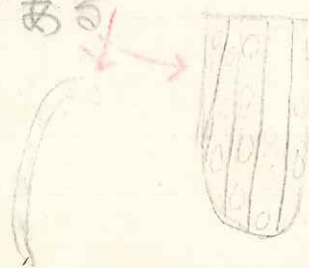
つかまえた日 7月22日 (晴)

つかまえた場所 つたの木

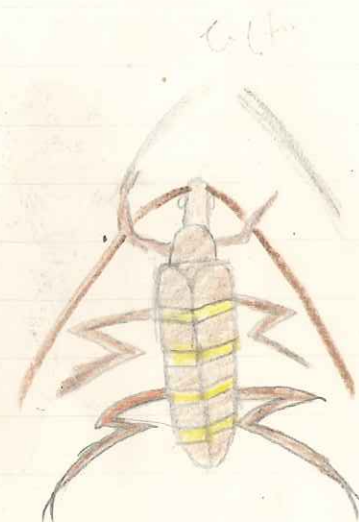
6月、7月、8月に林にいる

わかったこと

1. しろいしろのもようがある
2. からだよリモひげの方が長い
3. ひげにもようがある



ひげ



まい足 うしろ足



ヨジスジツハナカミキリ

(カミキリ虫科)

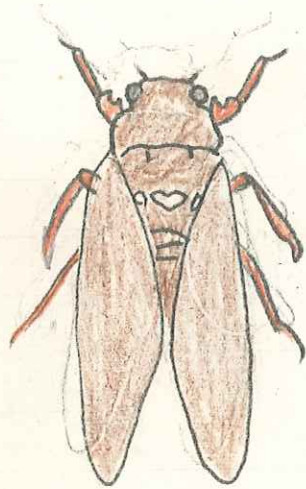
つかまえた日 7月30日 (晴)

つかまえた場所 家のろうか

7月、8月に山の花にいる

わかったこと

1. もようは正方形のようなものが四つある
2. 色はちい色でところどころにき色がまじっている

せみの
なかま

あぶらせみ

(セミ科)

つかまえた日

7月26日

(晴)

つかまえた場所

かきの木

7月, 8月, 9月に木にいる

わかったこと

1. ジワジワとなく
2. はねはちゃ色にすみみちいのかある



コエゾセミ

(セミ科)

つかまえた日

8月26日

(晴)

つかまえた場所

りんごの木

7月, 8月に山の木でなっている

わかったこと

1. はねやすきとおっている。
2. ひぐらしにている
3. はねがすきとおっているのでまちがいかすい



まえ足 うしろ足
ひげ

ミンミンゼミ

(セミ科)

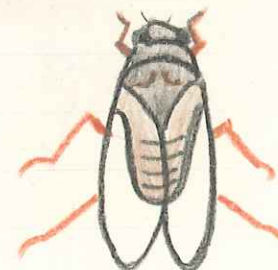
つかまえた日 7月28日 (晴)

つかまえた場所 かきの木

7月、8月、9月に木にいる

わかったこと

1. はねはすきとおっている
2. セミの中でも大きい方だ
3. ミンミンミンとなく



ハルゼミ

(セミ科)

つかまえた日 8月29日 (晴)

つかまえた場所 かきの木

7月、8月、9月に木にいる

わかったこと

1. ビービーとなく
2. はねはすきとおっている
3. セミの中では、ちいさい方だ



にいいいぜみ

(セミ科)

つかまえた日 7月21日 (晴)

つかまえた場所 リんごの木

6月, 7月, 8月に木にいる

わがったこと

1. セミの中でも小さいからだ
2. ニーニーとなく
3. はねわちゃいろやみどりがまじっている



ひぐらし

(セミ科)

つかまえた日 8月6日 (晴)

つかまえた場所 リんごの木

6月, 7月, 8月に木にいる

わがったこと

1. はねすきとおっている
2. カナカナとなく

うしろ足 まえ足



エゾハルゼミ

(セミ科)

つかまえた日 7月20日

(晴)

つかまえた場所 かなぎの木

5月、6月、7月に山の木にいる

わかったこと

1. ケーケーケーとなく
2. はねはわすきとおっている

おすとめすのはら



おす



めす

せみの足

せみが からからぬけでてきます。重いせみがぶらさが
ってもぬげがらはおちません。せみの子の足には、す

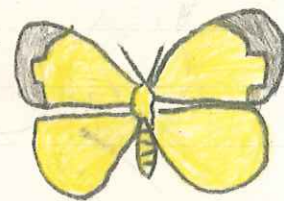
るどいとげがあってそれでひかかっているからです。

木のしるをすってるあぶら ぜみ



口は細長いくだ
のようになって
木のしるをすって
います。

ちょうの
ながま



はね



ひげ



モンキチョウ

(チョウ科)

つかまえた日

8月15日 (晴)

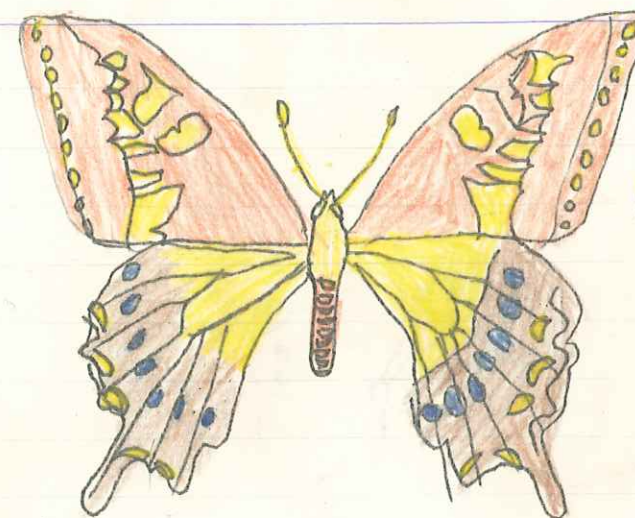
つかまえた場所

石の上

7月, 8月, に 草原にいる

わかったこと

1. はねはきいろい くらがまじっている
2. きれいだ



はら



きあげは

(チョウ科)

つかまえた日

7月30日 (晴)

つかまえた場所

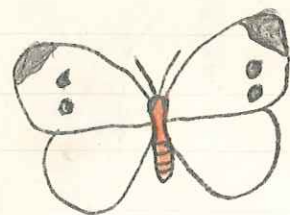
ゆりの花

8月, 9月, 10月に 草原にいる

わかったこと

1. チョウの中でも大きい方だ
2. はねはきれいだ

バッタの
なま



はね



ひげ

スジグロチョウ

(シロチョウ科)

つかまえた日 6月21日 (晴)

つかまえた場所 キヤベツの上

4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, に草原にいる

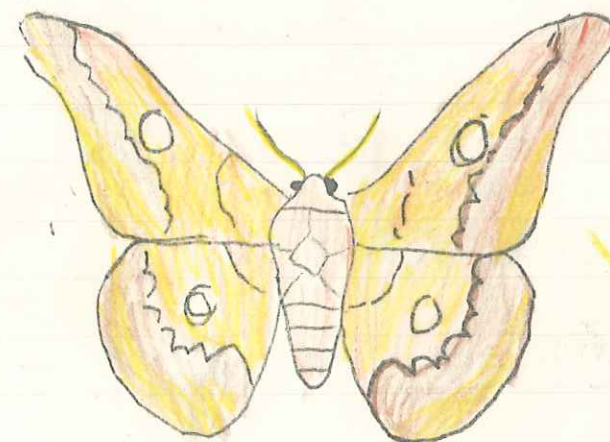
わかったこと

1. はねにくろいもようがついている

はら



ひげ



ウスタビガ

(ガ科)

つかまえた日 8月21日 (晴)

つかまえた場所 石の上

10月, 11月, に林にいる

わかったこと

1. ガの中でも大きい方だ

2. きれいながだ

チョウ・がのまとめ

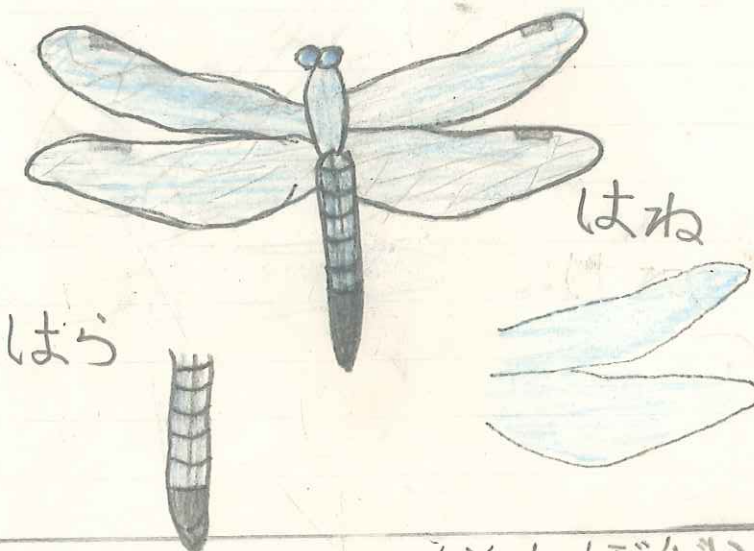
こまかいりんぷんのならんだうすいはねをもって
 ねます。口は長くだになて使わないときはぜんま
 いのようにまいています。ゑか虫→さなぎ→成虫と
 へんかをします。幼虫は青虫・いも虫、毛虫などで
 いろいろな植物の葉をたべています。中には花だ
 けしかたべない物、けおりものをたべる物、アブラ虫
 をたべる物などもあります。チョウはふつうひるまかつび
 うし、ヒゲは糸かくしのような形です。

はねにりんぷんがついています。



長い口をもっています。

とんぼの なかなま



はら

はね

シオカラ

(とんぼ糸)

つかまえた日

7月28日 晴

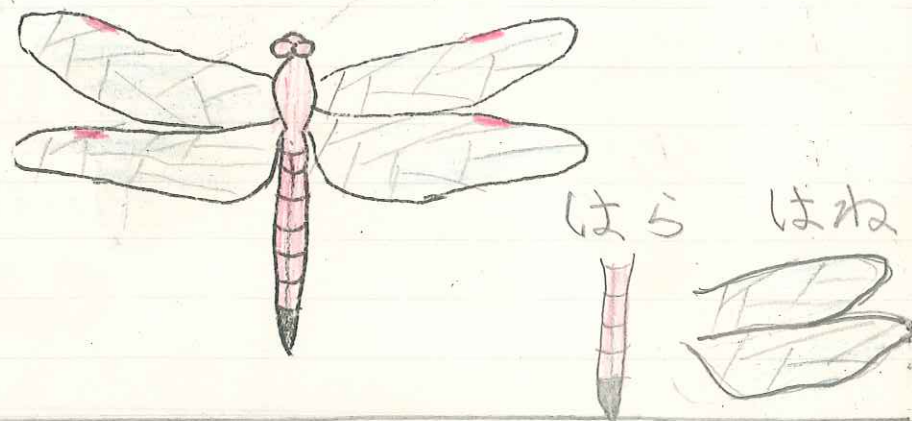
つかまえた場所

かれ木

5月 6月 7月 8月 9月に 田、野原にいる

わかったこと

1. はねにすじがある
2. はねはすきとおっている



アキアカネ

(とんぼ科)

つかまえた日

9月21日

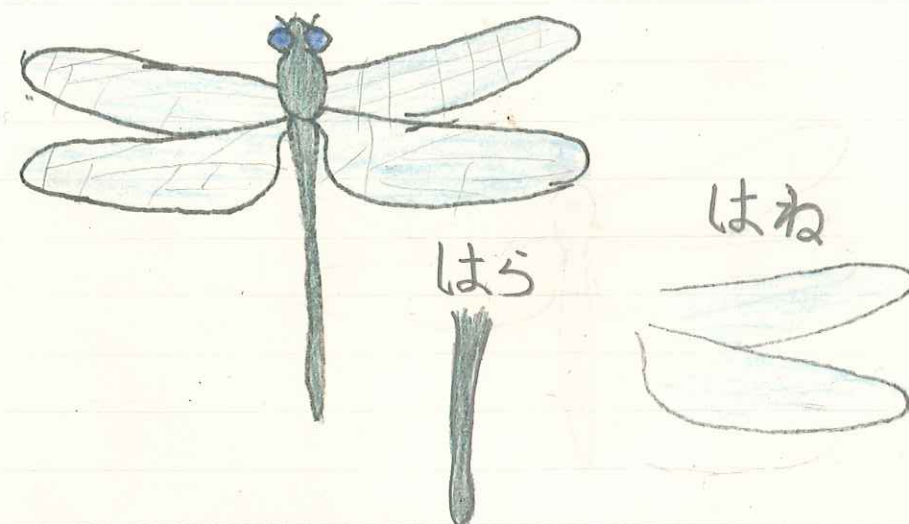
つかまえた場所

木の上

6月7月にかね木にいる

わかったこと

1. はらは赤い
2. 小さいとんぼだ



カトリヤンマ

(ヤンマ科)

つかまえた日

8月21日

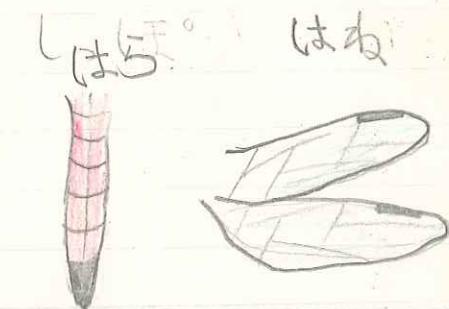
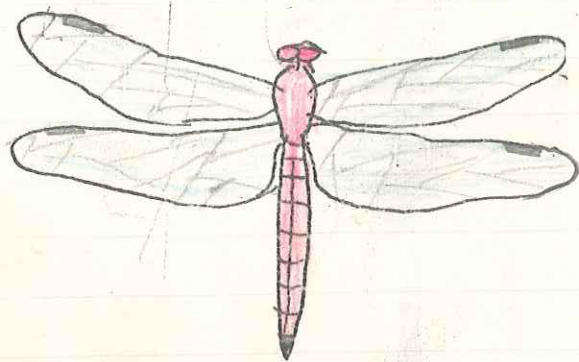
つかまえた場所

かれ木

6月 7月 8月に 田にいる

わかったこと

1. みどりのしほだ。
2. はねはすきとおっている



(とんぼ科)

ななかま

つかまえた日

8月26日

つかまえた場所

かれ木

7月8月9月に木にいる

わかったこと

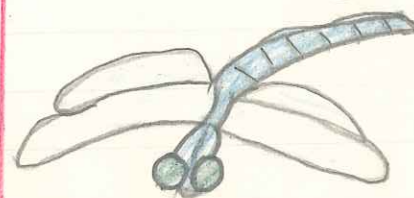
1. からだは赤い
2. 小さいとんぼだ。

とんぼのまとめ

このなかまは、大きな目玉と、細かい脈のあるはねをもっています。幼虫 (ヤゴ) からすぐトンボになるので、さなぎの時代は、ありません。ヤゴもとんぼも大きな口でほかのこんちゅうをたべる、らんぼう者です。

世界に5000しるいもいてはねをひろげてとま
るヤンマヤシオカヲトンボなどハゲロトンボ類に大きく
はねをたたんでとまるイトトンボや
分けられます。ムカシトンボはどちらにもはいら
ないめずらしいとんぼです。

大きい目をもっている



ハチの なかま



スズメバチ

(ハチ科)

つかまえた日

7月30日 (晴)

つかまえた場所

すいれんの花

5月6月 7月に木にいる

わかったこと

1. 小さいハチだ
2. はねはすきとおっている



はね

からだ

みつばち

(ハチ科)

つかまえた日

8月21日 晴

つかまえた場所

けいこの花

4月 5月 6月 7月に花にいる

わかったこと

1. からだにちや色のもようがある
2. はねにすじがある

アブの ながま



うしろ足



はね



コウカアブ

(アブ科)

つかまえた日

7月21日 (晴)

つかまえた場所

けいとの花

6月 7月 8月 だにいろ
 6月 7月 8月 8月にべんじょにいる

わかったこと

1. はねはすきとおっている

2. はねにすじがある



はね



はら



ウシアブ

(アブ科)

つかまえた日

8月4日

つかまえた場所

はたけ

7月8月にかちくごすにいる

わかったこと

1. からだに山がたのもようがある

2. からだがまるい



はね

はら

ハナアブ

(アブ科)

つかまえた日

10月7日 (晴)

つかまえた場所

家の中

6月7月に花にいる

わかったこと

1. はねはすきとおっている
2. はねにすじがある

ハチ, アブのまとめ

ハチ,

はねは、膜のようで うすいけれどもじょうぶです。
 たまご→ムカ虫→さなぎ→成虫とへんたいします。
 ムカ虫は、下等な なかまでは植物をたべ かし高
 等になると、ほかの虫にきせいしてそだちます。
 もっと高等になると虫をとらえてムカ虫のえさにし
 ます。いちばん高等ななかまは、みつば花粉を集
 めてムカ虫のえさにします。高等なハチのめすは
 人をさすことがありますがおすはしません。またミ
 シバチなどは社会生活をしています。

アブ

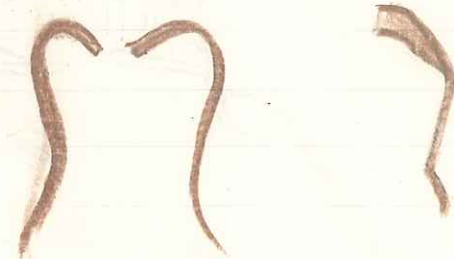
このなかまは、うしろばねがないの
 がとくちょうです。たまご→ムカ虫→さなぎ→
 虫とへんたいをします。ムカ虫はうじで植物をたべ

るもの、くさったきたないものをたべるものなど、いろ
いろあります。せい虫は花のみつをすて生活す
るものが多いのですが、がい虫もたくさんいます。

コウロギ のなかま



ひげ うしろ足



エンマコウロギ

(コウロギ科)

つかまえた日

9月29日

つかまえた場所

かれ木

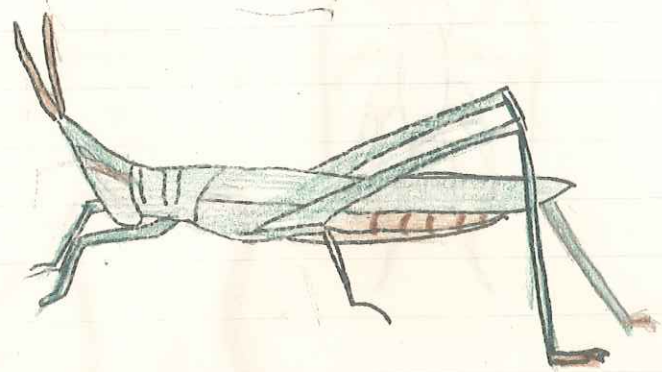
8月 9月 10月に火田にいる

わがたこと

1. ひげは長い
2. はねにもようがっている
3. コロコロとなく

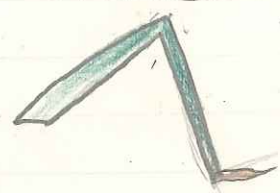
コウロギ
のなかま

コウロギ
のなかま



ひげ

うしろ足



ショウリョウビシタ

(バッタ科)

つかまえた日 9月16日

つかまえた場所 草

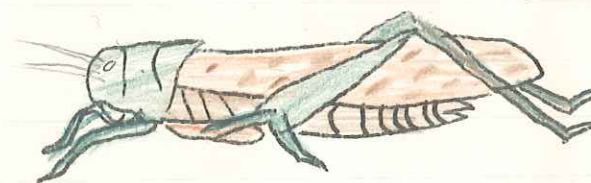
8月 9月 10月に草原にいる

わかったこと

1. からだが糸田長い
2. うしろ足がずっと長い
3. ちゃ色をしたのもいる

ひげ

うしろ足



とのさまバシタ

(バッタ科)

つかまえた日 10月5日

つかまえた場所 しばふ

7月 8月 9月 10月に草原にいる

わかったこと

1. からだがとても大きい
2. うしろ足はふとくてじょうぶそう
- 3.

コウロギのまとめ

前ばねは、少しかたく、うしろばねは、うすく 前ばねの下にたてにたんでいます。さなぎの時代がなく、
 幼虫も成虫もはねのあるとないだけのちがいです。ふつうあと足がはたつしていてよくはねますがとぶのはうまくありません。植物をたべるので作物のかい虫が多いのですがコオロギやキリギリスはほかのこん虫やなかなかをたるときがあります。また、カマキリばかりたべるらんぼうものもいます。

そう まとめ

1. 植物をたべたりしるをすたり虫をたべるしゅるいもいます。
2. 今までべつのしゅるいの虫だと思っていたのが同じ仲間のおすめすだ、たりしておもしろいと思いました。
3. こん虫をつかまえた日はよく晴れていて風がなく午前八時ごろから午後2時ごろまでのあつい日でした。
4. つかまえてもころすのがいけでした。
5. 参考にしたもの

採集と標本の図鑑

本田正次先生と牧野晩成先生と古川晴男先生と中山周平先生のかいた本を学校のとしよ

かんからかりて見ました。

虫の図めぐり

古川晴男先生と中山周平先生のかいた本。

こん虫ポケット図鑑

古川晴男先生のかいた本を見てしらべました。